霧島山の火山活動解説資料(平成21年6月)

福岡管区気象台 火山監視・情報センター 鹿児島地方気象台

新燃岳

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

火口内及び火口の外の西側斜面では引き続き噴気がみられており、火口内に影響する程度の噴出現象が発生する可能性がありますので、火山灰等の噴出に警戒が必要です。

平成 20 年 10 月 29 日に噴火予報(噴火警戒レベル 1、平常)を発表しました。その後、予報警報 事項に変更はありません。

〇 6月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況(図1)

白色の噴煙が火口縁上概ね100mの高さで推移しました。

・地震や微動の発生状況(表1、図1)

火山性地震の月回数は4回(5月:71回)と少ない状態でした。震源が求まる火山性地震は、 ありませんでした。

火山性微動は観測されませんでした(5月:なし)。

・地殻変動の状況(図2、図3)

GPS 連続観測では、長期的に続いていた山体膨張を示す変化は、2008 年 8 月 22 日の噴火以降認められなくなりました。

表1 霧島山(新燃岳) 最近1年間の地震・微動回数(2008年7月~2009年6月)

2008~2009 年	7月	8月	9月	10月	11月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
地震回数	4	1005	204	77	32	28	29	35	8	3	71	4
微動回数	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ(http://www.fukuoka-jma.go.jp/)や気象庁ホームページ(http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成21年7月分)は平成21年8月7日に発表する予定です。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ (標高)』を使用しています(承認番号: 平20業使、第385号)。

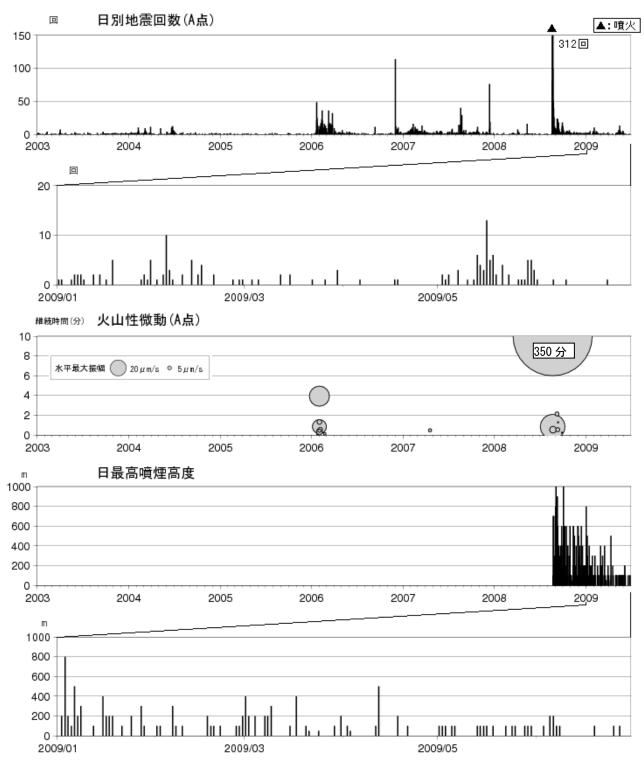
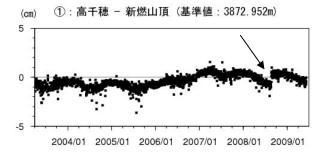
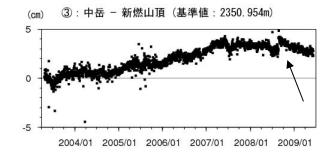
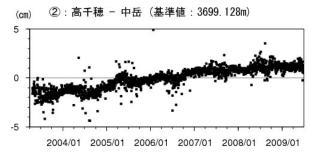


図1 霧島山(新燃岳) 火山活動経過図(2003年1月~2009年6月)

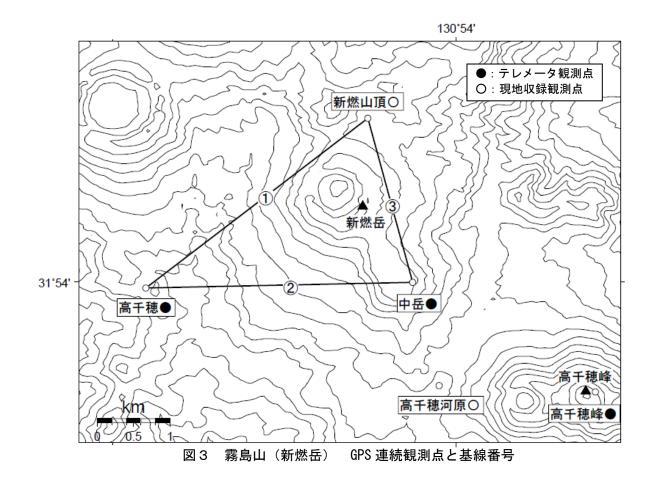
- ・白色の噴煙が火口縁上概ね 100mの高さで推移しました。
- ・火山性地震の月回数は少ない状態でした。
- ・火山性微動は観測されませんでした。







- 図2 霧島山(新燃岳) GPS 連続観測による基線長変化(2003年4月~2009年6月) 長期的に続いていた山体膨張を示す変化は、2008年8月22日の噴火以降認められなくなりました。 新燃岳を囲んだ3観測点の基線による観測を行っています。
 - この基線は図3の①~③に対応しています。
 - *矢印の基線長の変動は、噴火時に新燃岳西側に亀裂が生じたときのものです。



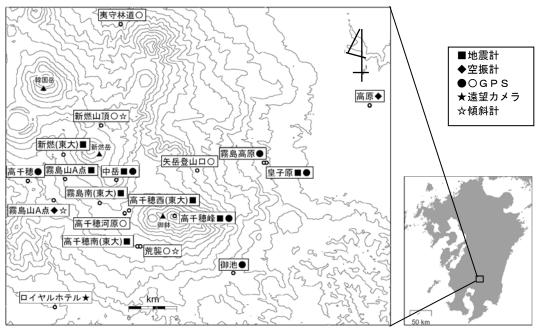


図4 霧島山 観測点配置図

御鉢

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。 平成19年12月1日に噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

〇 6月の活動概況

・噴気などの表面現象の状況(図5)

火口縁を超える噴気は観測されませんでした。

・地震や微動の発生状況 (表2、図5)

火山性地震(5月:3回)及び火山性微動(5月:1回)は観測されませんでした。

・地殻変動の状況 (図6、図7)

GPS 連続観測では、火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。

表2 霧島山(御鉢) 最近1年間の地震・微動回数(2008年7月~2009年6月)

2008~2009 年	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
地震回数	1	1	0	2	1	2	7	2	8	9	3	0
微動回数	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0

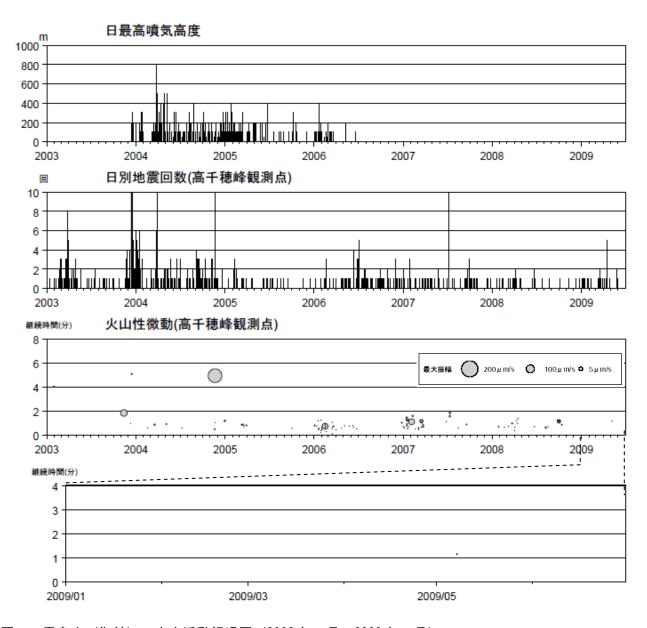


図5 霧島山(御鉢) 火山活動経過図(2003年1月~2009年6月)

- ・火口縁を超える噴気は観測されませんでした。
- ・火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

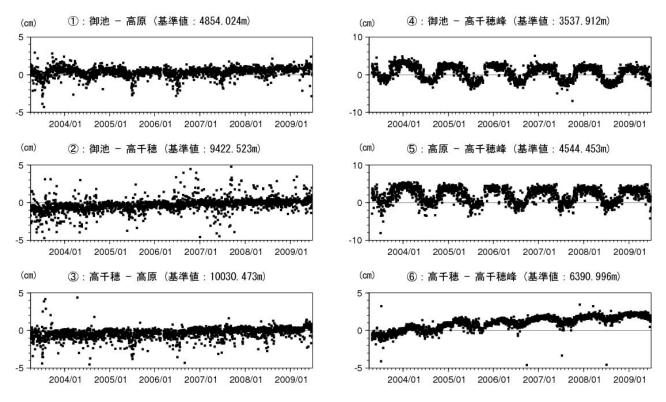


図 6 霧島山(御鉢) GPS 連続観測による基線長変化(2003年4月~2009年6月) 火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

御鉢を囲んだ観測点の基線による観測を行っています。 この基線は図7の①~⑥に対応しています。

